

ハチ捕り装置の作り方・スズメバチ初期駆除のお願い

自然豊かな神河町では、時に困ったお客さまがやってくることがあります。

スズメバチは4月下旬～6月ぐらいにかけて巣作りを始め、秋祭り頃には最盛期を迎え凶暴化します。一番効果的な予防策は、女王バチが単独で巣作りをしている時期や巣を作る場所を探しているときに退治してしまうことです。

そのためには、「ハチ捕り装置」をこの時期に仕掛けておく事が有効です。

昨年ハチを見かけた場所などに「ハチ捕り装置」を仕掛けておきましょう。

「ハチ捕り装置」の作り方

《用意するもの》

本体 1.5リットル～2.0リットルのペットボトル（中がつつのタイプが良い）

誘引剤（ハチをおびき寄せる臭いを出します）砂糖 100g、日本酒 220cc、酢 70cc
或いは 焼酎とオレンジジュースを1:1の割合で混合 等工夫して下さい。

《作り方》

- ① ペットボトル上部の数箇所を1辺2.0cmほど切り、入口となる穴を開けます。
上辺は外側に、下辺は内側に折り曲げて下さい。（雨が入らない方がよい）
- ② キャップの首に紐を結びつけます。
- ③ 誘引剤を底から7cm程度の高さになるように入れて下さい。

設置と注意事項

本体を直射日光の当たらない木の陰などにひもで吊るします。（ハチの巣の5m以内の場所では、設置・使用しないで下さい。ハチが集まりすぎて危険です。）

普段から人が通行・作業する場所から5m以上離して下さい。

子どもがいたずらできないような高さで、木の枝等に設置して下さい。

誘引剤の補給や交換

ハチが行動する日中を避け、付近をハチが飛び回っていないことを確認して下さい。

誘引剤が蒸発して半分以下(残り3cm程度)のとき、もしくは、ハチや他の昆虫でペットボトル内が満たされ、液面が見えなくなったときは、誘引剤の交換あるいは補給を行って下さい。

